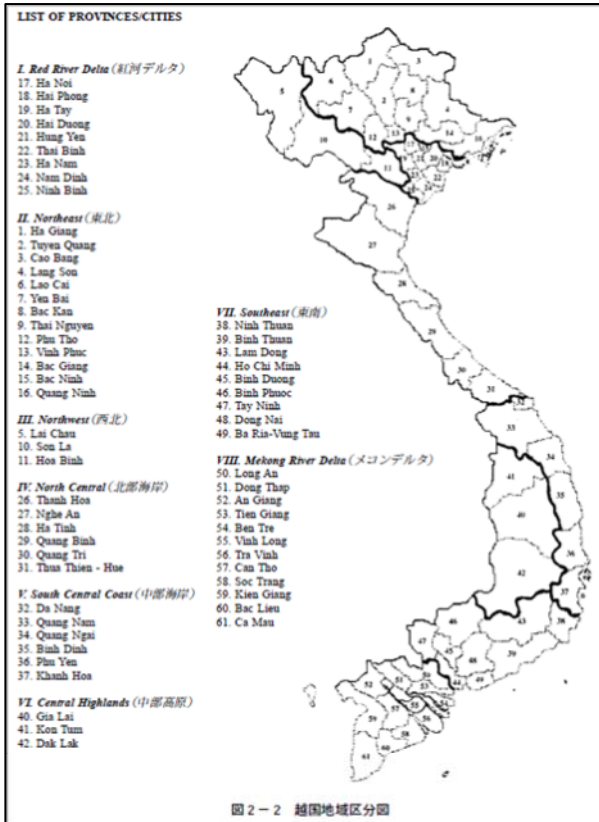


1. 概要

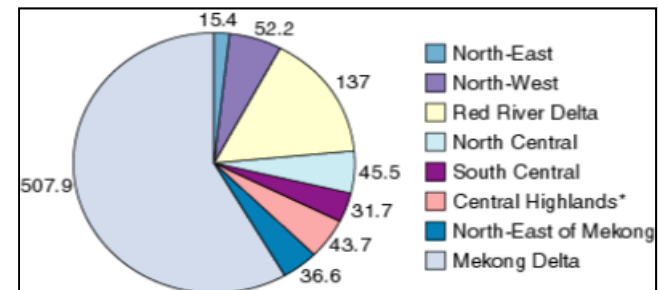
- 国土: 33万1千km²(日本の約0.9倍)
- 人口: 8621万人



2. 特徴

- 地理・気候
 - 乾季と雨季に分かれる熱帯モンスーン気候
 - 雨季の暴雨に襲われるため洪水の被害は深刻
 - およそ70~75%の年間表流水は3~4ヶ月の間にもたらされる
 - 主要8本の河川の広流域は1万km²以上であり、これらのほとんどが国際河川である
- 経済情勢
 - GDP: 849億米ドル(約8兆円)
 - 製造業・建設業が40%で最も多く、サービス業(38%)、農林水産業(22%)と続いている
- 水資源
 - 河川の総表流水は8350億m³にもなるが、6~7ヶ月続く乾季には15~30%の流量しかない
 - 河川は年間2550億m³もの豊富な水を与えてくれるが、年間530億m³しか利用できていない
- 水利用
 - 地下水涵養分は年間約48km³
 - 年間総表流水は891.2km³で、そのうちの366.5km³が国内供給量
 - 全表流水の約60%が国外由来で、メコン川に至ってはその流域面積の90%以上はベトナム国外に位置している
 - 国外からの流入は年間542.7km³と見積もられている。

Fig 2. River run-off per Region (bill. m³/year)



Source: National Water Sector profile, 2002.

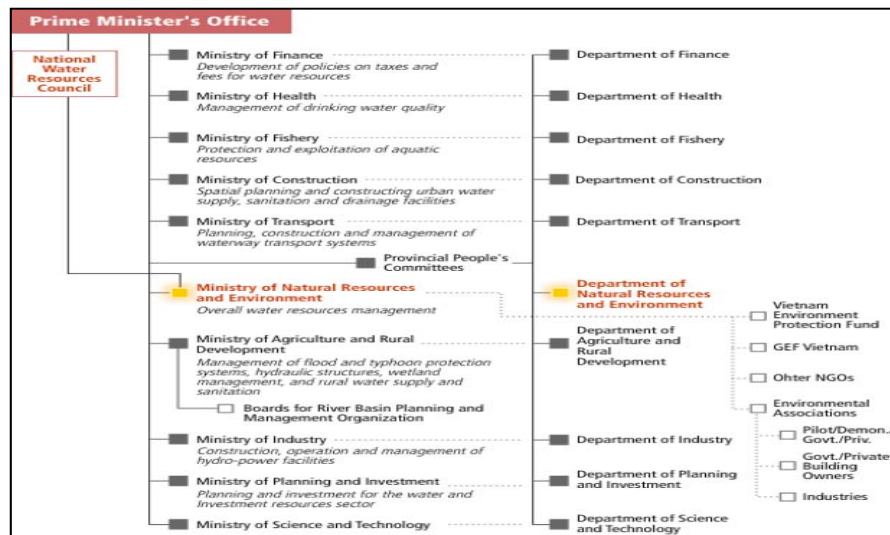
ベトナムの水に関する主な動き

3. 上下水道事業

- 上水道
 - 地方公営企業が中心、民営化も
 - 世銀、ADB、その他ODAでのPPP事業
 - 外国資本を歓迎
- 下水道
 - 2010年までに都心での40%、工業団地、輸出推進ゾーンでの70%の汚水処理システムの普及率を達成する

4. 水に関する行政機関

- 水資源管理に関わる各省庁は、天然資源環境省 (MoNRE)、農業農村開発省 (MARD)、工業省 (MOI)、建設省 (MOC)、運輸省 (MOT)、公共保健省 (MPH) 等である。



5. 水に関する政策

- 国家計画
 - UNDPとUNEPの「貧困・環境イニシアチブ」に応える環境保護国家戦略
 - 水資源開発プランと暫定開発プラン
 - 水資源開発のための方向性と義務
 - 国内の工業化と近代化における環境保護強化プラン
 - 工業化と近代化における農村農業開発戦略
 - 農村給水・排水処理のための国家戦略
 - 災害防御と管理のための第二次国家戦略とアクションプラン

6. 課題とニーズ

- 治水
 - 台風などで、洪水による災害が多い
- 利水
 - 旱魃が非常に多く、利水が重要
- 流域管理: メコン流域委員会
 - ラオス、タイ、カンボジアが加盟し、統合水資源管理に取り組んでいる